

りんせん通信

7
2019

発行：アロマセラピールーム林泉 <http://rinsen-aroma.com>

2019年7月7日発行(通巻第101号)

～花と緑の香りめぐり(2)～

広大なラベンダー畑が埼玉・嵐山町に誕生 「千年の苑ラベンダー園」を訪ねました

嵐山の主役は、ラバンジン

この園で9割以上を占めるのは、ラバンジンという種類。株が大きく、縦も横も1mほどになります。

精油の採油率が高く、ラベンダーとして流通するもののほとんどがラバンジンなのだそうです。カンファーを含み、シャープな香りが特徴です。



香りの優等生イングリッシュラベンダー

すみっこに植えてあったイングリッシュラベンダー。ラバンジンと比べると、株はぐっと小ぶりです。

アロマセラピーの世界で、ラベンダーといえばこの品種のこと。香りには、甘さ、爽やかさ、渋みなど、バランスよく盛り込まれています。

見た目がかわいいストエカス

花穂の先にフリルがついているストエカスという品種も見つけました。

ただ、香りは今ひとつで、ワラのようなにおいがします。精油も製造されていますが、一般のアロマショップにはほとんど置いてありません。



摘み取りを体験

300円払うと、ハサミと直径5cmのリングを渡されました。このリングに入るだけ、花を摘むことができます。

この日は暑かったせいか、想像していたほど、作業がはかどりません。スタッフの方に、「もっとたくさん摘んでいいのに」と言われてしまいました。

サロンに用意しています

嵐山で見た三種のラベンダー。いずれの精油も、林泉でお試しいただけます。トリートメントはもちろん、嗅ぎ比べだけでも是非どうぞ。

※林泉ホームページに、嵐山ラベンダー園の詳しいレポートを掲載しています。こちらをご覧ください。



夏休みのお知らせ

7/31(水)～8/7(水)

ご不便をおかけしますが、
よろしくお願い致します。

月例ワークショップ No.157

2つの冷え対策で

夏の疲れを和らげる

クーラーの冷気は、いつの間にか身体に入り、夏バテの原因になります。足とお腹の冷え対策を試してみましょう。

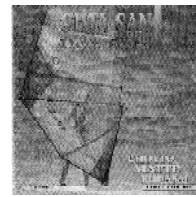
7月28日(日)13時15分～14時45分

新座栄公民館・2階児童室

参加費無料／予約不要／女性対象

フェイスタオル2本／足を出せる服装

音楽でリラックス 6月の一枚



チョット・マッテ・クダサイ
オータ・サン

ウクレレ名人・オータサンは、どんなジャンルでも弾きますが、もともとジャズ・ミュージシャンです。ここでは、ハワイのジャズ仲間と一緒に、ハワイでヒットした新旧の曲を、イージーリスニング・ジャズとして演奏しています。

タイトルの「チョット・マッテ・クダサイ」は、1970年頃にヒットした曲で、日本ではゴールデン・ハーフがカバーしました。聴いていると、ハワイのホテルに泊まって、遅いランチをとっているような気分になります。